



No.160
平成 30 年 3 月 1 日

議会広報

議会
開幕

- P2～P7 一般質問
- P10 議会を傍聴しました!!
- P13 私たちの未来
- P14 ワッタウムイ
- P15 みんなの声聞いてみました
- P16 題字提供はこの方

さとうきび 最盛期!



今期は、
5,400トンの
見込みっちゅん



伊江島イメージキャラクター
タッちゅん

村政のここを問う！

12月定例会 一般質問

伊江ビーチ遊泳区域内へ林地荒廃防止護岸に堆積している砂移動を

村長／適時作業を実施していく



亀里 敏郎 議員

これま
で、複数の議
員から一般質問で、伊江ビーチ遊泳区域内へ林地荒廃防止護岸に堆積している砂移動を

このことに村当局は、迅速かつ適切に対応され、今は見違えるほどに白砂だけのビーチとなり、称賛している。

しかしこの機能で、最も望まれることは安心、安全、干満に関係なく、游泳できることだが、現在の伊江ビーチ遊泳区域内（フロート内）は、砂は皆無の状態で、干潮時には地肌がむき出しとなりケガをする恐れのある危険な遊泳区域ではないか。現実に3～4件の足裏の裂傷事故が発生したと、民泊関係者から聞いて化し死滅した大量のサンゴと漂着した海洋ごみの除去についての提言があった。



伊江ビーチ砂戻し作業の様子

また毎年、伊江島観光協会・民泊部会やスポーツ少年団など地域の皆様による、ビーチ清掃活動を実施していただきしております。この場を借りてお礼と感謝を申し上げます。

現在、伊江ビーチの遊泳区域内には砂がなく、

おり、遊泳区域への砂の移動は、平成26年6月13日と7月15日に実施されているが、現在は台風等で堆積した砂は護岸を超えてばかりの状況だが、平成26年7月15日以降に遊泳区域内への砂の移動を実施されたか。もし実施されていないならばその理由は。

答 伊江ビーチの整備については、これまで本会議において、多くの御質問や御提案をいただいていますが、村では、ビーチクリーナーによるサンゴ礫や漂着ごみの除去や、大型機械で堆積した砂を海に戻す作業を適時行なうなど、景観美化と安全対策に努めている。

遊泳するには林地荒廃防止護岸に堆積している砂を、年間2～3回移動することと、遊泳区域としての機能が格段と向上しないか。なお、堆積した砂を移動することで林地荒廃防止護岸としての目的に沿うのではないか。

定としましては、来年3月に海水浴シーズンに備えた作業を実施するなど、適時作業を実施したい。

また、「堆積した砂を移動することで、林地荒廃護岸としての目的に沿うこととなるか」の御質問については、林地荒廃防止護岸は、ビーチ売店から西側の保安林を海岸浸食から保護するために沖縄県が整備した護岸であります。沖縄県に確認したところ、護岸の上層部まで砂が堆積する現状においても、護岸の目的である海岸の浸食を防止し、保安林を保護する目的に沿うものであると認識をしているということである。



受講生の皆さんでパネルディスカッション

（2）3年間で地域活性化や雇用創出につながる成果はありますか
（1）平成27年度から29年度までの各年ごとの塾生は何名ですか
（2）自分の生まれ島である伊江島を見つめ直すといつ伺いたい。
（3）3年間で地域活性化や雇用創出につながる成果はありますか
（4）3点について伺いたい。

度から減少し、平成29年度からは対象者を40歳未満から年齢制限なしに変更している。当初は、塾生は28名いたが、平成28年からは減少しに変更し、そこで、3点について伺いたい。
（1）塾生の人数について
（2）自分の生まれ島である伊江島を見つめ直すと共に、自分自身を見つめ直し、自己研さんをしながら、自ら地域活性化に取り組むという人材育成を目的としている。これまで、「伊江島の観光産業の現状と未来」、「地方創生を担う若者たち」、「繁多川の再

生」、「お金の使い方・貯め方」等、村内外の企業の社長や国の職員、元自治体職員等を招聘し、いろんなジャンルの方々に講演していただきたい。
（3）平成29年度より一般の方々も塾生の対象にしていくので、興味のある講演へ参加していくいただき、それぞれ知識を高めているものと考

えていくこと
（4）第6次産業の先駆者の取り組みについて
（3）自己研さん
（2）地域活性化として、優良事例の紹介
（1）文化面として、県立芸大の先生による民俗芸能文化について
（4）第6次産業の先駆者の取り組みについて
以上ですが、まずは多くの皆さんに興味を持つて講演や塾に気軽に参加できるような環境づくりを行い、人材、あるいは地域リーダーが輩出できるよう取り組んでいきたい。

問 地域活性化と雇用創出の実現に向け、青壮年に自己研さんと交流を図る事業として、伊江村青年交流事業「伊江島創生塾」が運営されていますか



島袋 勉 議員

教育長／興味を持って気軽に参加できるような環境づくりを行いたい

伊江村青年交流事業「伊江島創生塾」の活性化に向けて

（3）平成30年度の創生塾の内容について

たか

（3）平成30年度は、次のように

な内容を検討し

ている。

（3）平成30年

度は、次のよう

な内容を検討し

ている。

（3）新規事業への取

り組み等につな

がっていくこと

を期待してい

る。



本村出身の知念司氏を迎える講習会（中央右側）

スポーツ合宿誘致等の今後の取り組みは

村長／関係機関と調整を図り誘致に向けて取り組んでいきたい

問 平成29年度村長の施政方針において「総合運動公園整備事業」を見据えながら、合宿等の誘致に向けた取り組みを進めてまいります」と述べられました。

そこで次の点について伺いたい。

(1)合宿施設の計画の進捗状況は。

(2)社会人やプロスポーツ受け入れのための新たなホテルの誘致はできないか。

答

(1)平成28年度に県内の中学校、高校、専門学校、大学を対象に合宿地に関するニーズ把握調査を実施し、今年度は、合宿施設の整備方針及び導入機能、規模等の整理や既存施設の利活用、民間

活力の導入等も踏まえた事業手法の検討など、多面的、総合的に判断するためには、基本計画の策定に取り組んでいるところであり、また施設整備に遅滞が生じないよう、併行して北部連携促進事業での事業構築に向けて、関係省庁との事前調整を進めている。

(2)ホテル誘致につけて、関係省庁との事前調査の経過について

は、雇用の創出や地域経済への波及効果が期待されるなど地域活性化に寄与するとともに、充実した宿泊環境が図られるものであり、多くの方々が切望され期待しているもの



渡久地 政雄 議員

と考えている。

今後においては、既存ホテルの事業者の施設整備の意向や、新規ホテル事業者の動向を把握するとともに、多面的に方向性を見極めながら関係機関と調整を図り、ホテル誘致に向けて取り組んでいきたい。

フェリーの1日5航海運航は可能か

村長／総合的に判断していきたい

問 平成29年3月定例会において、「夏休み期間中のみ運航している1日5航海の周年運航に向けた可能性調査を実施いたしました」との方針を述べられましたが、次の点について伺いたい。

(1)夏休み期間の1日5航海の運航実績について(平成26年・27年・28年・29年)

(2)各便の一日の平均客数(3)これまでの可能性調査の経過について

(4)土曜日、日曜日、祝祭日のみの周年5航海運航は実現可能か

答 (1)夏休み期間の運航は、7月21日～8月31日までの42日間、5航海で210航海して、平成26年度5万2,548名、平成27年度5万276名、平成28年度5万9,695名、平成29年度5万6,134名でした。

(2)平成26年度から平成29年度までの各便を合計した平均は、伊江発8時便166名、10時便132名、12時便103名、14時30分便132名、16時30分便156名。本部発9時便174名、11時便149名、13時30分便95名、15時30分便132名、17時30分便164名でした。



日立製作所野球部の選手が指導を受ける子どもたち

一方、周年5航海運航を検討する際のもう一つの検討すべき重要事項である収支面については、専門的な調査が必要であり、早めに可能性調査を進めて行きたくと考えている。公営企業の旨である独立採算性を考慮した船員の勤務体制や職員定数、収支等を含めた経営診断や航路診断等を行い、調査の結果を踏まえて総合的に慎重に判断していかないと考えている。

(4)実現可能かについても、可能性調査の中で、並行して検討していきたい。

(3)公営企業課では内部調整の中、土官会を通して、これまでの課題だった時間外労働について話し合った結果、新造船の旅客定員が700名となることから、ゆり祭りや修学旅行等での臨時便運航回数がこれまでの年間150回から50回程度へ減少すると見込まれることから、船員の労働環境の改善につながり、周年5航海運航に向けた体制が整いつつある事を踏まえ、夏休み運航のダイヤを基本とした方法での周年5航海運航が可能かどうか検討をしている。

村長／関係機関と連携し事業を推進していきたい

キャトルステーションの導入は



山城 善彦 議員

問 平成29年の伊江村家畜市場における、牛セリ市も去る11月セリ市で終了し、平成28年に引き続き子牛の年平均価格が70万円を超えて高値で推移し、農家の生産意欲も高まっており高値安定が続くよう願っている。

肉用牛振興については、平成26年の12月定例会にて、繁殖牛増頭対策協議会の設置及びキャトルステーションの導入について質問したが、調査、検討中の事だった。このような状況の中、去る6月17日の新聞報道に、『JAおきなわ、肉用牛繁殖へ市場維持へ離島で検討』の見出しで、2018年以降、伊江島、久米島、多良間島、黒島4島の子牛市場における、上場頭数の減少を補完するた

答 伊江村家畜市場における牛セリ市の状況は、子牛の平均単価は、平成29年74万5,000円、平成28年74万4,000円と高

め繁殖事業を実施する。特に伊江島は肥育センターの老朽化による建て替えと合わせて、繁殖事業を視野に入れて、繁殖牛増頭対策協議会の設置及びキャトルステーションの導入による上場頭数の減少でセリ市場の存続が懸念される中、渡りに船で最善な対策事業であり、早急に事業化へ向けて取り組むべきと思慮するが、村長の所見を伺いたい。



宮崎県JA綾町キャトルセンターで、のびのび飼育された子牛たち

や繁殖施設、キャトルセンター等を含めた総合施設の整備について、協議をしている。

畜産総合施設の事業化に向けた取り組みについて、議員からあつた繁殖牛増頭対策協議会の設置や、キャトルステーションの導入についての質問を受け、和牛改良組合長をはじめ、JA、役場、青年部会員のメンバーにより宮崎中央のJA繁殖センター及びキャトルセンター、国分町の団地型牛舎等の視察研修を実施してきた。また、関係機関や和牛改良組合役員などと、報告会、座談会を開催し、預託施設導入に向けて、意見交換を行つてている。

J A肥育センターについては、平成25年以降、素牛価格の高騰により、肥育素牛が購入できなくなり、平成28年には、肥育センターは閉鎖状況にあつた。伊江島牛の存続について、JA伊江支店、JA本店へ要請し、現時点では90頭まで回復し、伊江島牛の供給も11月から開始されている。その折、肥育センターの整備

は、平成30年度に基本計画を作成し、31年度事業採択の計画で進めている。そのためには、村、和牛改良組合、JA伊江支店をはじめ村と協議するとあつた。

今後は、その事業に特化した関係機関を網羅した設置検討委員会を立ち上げ、基本計画を確立し、施設整備は村、管理運営についてJA本店が担うことを基本に、事業推進していく

め、JA本店、関係機関等、多くの方々の協力支援が必要。

伊江島一円グリーンベルト帯構想及び 県営かんがい排水事業計画は 村長／関係機関と強く働きかけていきたい

問 平成16年度より開始された国営かんがい排水事業も平成28年度にて完工し、今年度より伊江土地改良区も設立、一部水供給も開始され受益農家より喜びの声も聞こえます。



内間 広樹 議員

そのために、畠地からの表土流出防止と環境保全を目的に、農地側面に「クワソウ（秋の忘れ草）」を村内全域に複数年かけ、植栽する構想を立ち上げてはどうか。今後の伊江村の景観づくりにも効果があるのでないかと思うが当局の見

し、農業用水の供給管理が行われているが、溜池や地下水ダムの水質保全については、以前からの課題であり、今後においても重要な課題だ。

土砂等の流出防止対策としては、これまで、クワソウや月桃を推奨し、植栽

も、農家の意識の高揚、協力が不可欠であり、土地改良区や生産団体とも協議している。いずれにして

事態の未整備地区、真謝・真西地区、伊江西部地区については、村においても十分に認識をされているが、早期の水供給が求められて

造では、既存の溜池と地下
水を水源となっていること
から、排水溝から溜池へ流れ込む雨水も土砂等の不純物を少なくすることが望ま
れる。

現時点における計画は。
答 国営かんがい排水事業
は、平成28年度で工事
完了し、29年度において事
業完了することで、去る12
月1日に完工式及び祝賀会
が挙行された。

しかし現在の水供給の構
造では、既存の溜池と地下
水を水源となっていること
から、排水溝から溜池へ流れ込む雨水も土砂等の不純物を少なくすることが望ま
れる。

解を伺いたい。

また、県営かんがい排水
事業の未整備地区、真謝・
真西地区、伊江西部地区に
ついては、村においても十分に認識をされているが、早期の水供給が求められて



クワソウを利用した土砂流出対策



9月にはオレンジの花を咲かせます

い。今後においても、事業採択、事業の早期完工により、村内等しく水利用ができるよう国や、県、関係機関に強く働きかけていきた

い。今後においても、事業採択、事業の早期完工により、村内等しく水利用ができるよう国や、県、関係機関に強く働きかけていきた

い。今後においても、事業採択、事業の早期完工により、村内等しく水利用ができるよう国や、県、関係機関に強く働きかけていきた

し、多面的機能支払交付金（農地維持+資源向上）を活用しながら、クワソウ等の植栽による、景観に配慮した、土砂流出防止対策を年次的に進めていきた

LHDトランク等の拡張・強化工事とF-35Bの嘉手納基地への26機の追加配備計画について 村長／沖縄防衛局に対し粘り強く働きかけていきたい

問 (1) LHD 模擬デッキ 等の拡張・強化 工事計画は、米軍の当初の計画ではF-35Bの岩国基地への配備に間に合わせるため2015年3月着工され、工事は当初計画で報道された図面どおりに進められているが、村にはこれまで知らされていなかった計画書は示されているのか。

また、11月に入り砂利運搬船の入港も、セメント運搬船の入港も頻繁になり工事が急ピッチに進められておりが、LHD模擬デッキ等の工事の着工が遅れた理由と完成予定はいつなのか。

(2) 岩国基地にはF-35Bが16機すでに配備され、これに加え嘉手納基地へ新たに26機の配備計画があると



名嘉 實 議員

されていて、これらすべてのF-35Bが伊江島で訓練するならば基地周辺住民の生活環境は破壊されないか。これらの計画について改めて村長の所見を伺いたい。

答

(1) これまでにわたり沖縄防衛局に工事概要等の説明がないまま、工事が着工されたことに対する所見を伺いたい。

問

9月定例会でも質問したが、来年度から始まる国保の全県単一化によって、国保税はどうなっているか伺いたい。

答

沖縄県では、平成36年度から保険税(料)の統一ができるよう、平成30年度から県と市町村で協議を行うこととしている。

この期間中に、市町村は国保財政の赤字解消、医療

面書が示されているのかについては、これまで幾度となく、沖縄防衛局を通じて米軍に対して、工事図面、工程表等の提供を申し入れているが、計画書等の提供はなかつた。

LHDデッキ工事の着工が遅れた理由については、請負業者に確認したところ、磁気探査調査において、異常点の反応が多く、不明埋設物の確認調査に時間が要したため、工事スケジュールに大幅な遅滞が生じているとのことだつた。完成予定については、新聞

国保の全県単一化について

村長／国・県からの説明を見極めて対応していきたい

費の適正化及び事務の標準化等の取り組みを進め、市町村間の保険税(料)水準の違いなど、市町村国保が抱える構造的な課題に対応し、負担の公平化を進めるため市町村の意見を十分踏まえつつ、保険税(料)の統一に向けた環境を整備することになる。

来年度、国保事業の主体が県へ移行するに当たつ

報道や沖縄防衛局から情報提供があつた、来年11月ごろの完成予定と承知をしているが、今後ともあらゆる機会を通じ同型機の運用等により基地負担を増大させないよう、沖縄防衛局に対し粘り強く働きかけていくたい。

(2) F-35B 戦闘機の配備計画について、沖縄防衛局からは、現時点で海兵隊F-35B戦闘機を、嘉手納飛行場に恒久的に展開させる計画はないと回答があつた。



現在工事が行われている伊江島補助飛行場

議決の結果

平成29年第11回定例会

議案番号	件名	提案者	議決月日	議決結果
議案第58号	平成29年度伊江村一般会計補正予算(第7号)	村長	12月14日	原案可決
議案第59号	平成29年度伊江村診療所特別会計補正予算(第3号)	村長	12月14日	原案可決
議案第60号	平成29年度伊江村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	村長	12月14日	原案可決
議案第61号	平成29年度伊江村船舶運航事業会計補正予算(第3号)	村長	12月14日	原案可決
議案第62号	伊江村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	村長	12月14日	原案可決
議案第63号	伊江辺地に係る総合整備計画の変更について	村長	12月14日	原案可決
議案第64号	伊江村E&Cセンター機器購入の契約について	村長	12月14日	原案可決
議案第65号	伊江村手数料条例の一部を改正する条例の制定について	村長	12月14日	原案可決
発委第1号	伊江村議会会議規則の一部を改正する規則について(下記説明)	議運委員長	12月14日	原案可決
意見書第4号	在沖米海兵隊による飲酒運転死亡事故に関する意見書(資料P9掲載)	議員	12月14日	原案可決
決議第3号	在沖米海兵隊による飲酒運転死亡事故に関する抗議決議	議員	12月14日	原案可決

平成29年第12回臨時会

議案番号	件名	提案者	議決月日	議決結果
意見書第5号	米軍CH53E大型輸送ヘリコプターから普天間第二小学校への窓落下事故に関する意見書(資料P9掲載)	議員	12月27日	原案可決
決議第4号	米軍CH53E大型輸送ヘリコプターから普天間第二小学校への窓落下事故に関する抗議決議	議員	12月27日	原案可決

平成30年第1回臨時会

議案番号	件名	提案者	議決月日	議決結果
議案第1号	平成29年度伊江村一般会計補正予算(第8号)	村長	1月18日	原案可決
議案第2号	電子カルテ・デジタルX線診断システム購入の契約について	村長	1月18日	原案可決
議案第3号	医療資器材購入の契約について	村長	1月18日	原案可決

発委第1号改正内容

※議会における欠席の届け出の取り扱いに関して、社会情勢などを勘案し、議員が出産のため出席できないときは、回数を定めて、あらかじめ議長に欠席届けを提出することができると改正した。

意見書第4号

在沖米海兵隊員による飲酒運転死亡事故に関する意見書

去る11月19日午前5時25分ごろ、那覇市の国道58号泊交差点において、米軍公用車のトラックと、右折しようとしていた軽トラックが衝突し、運転していた那覇市の男性会社員が死亡する事故が発生した。

米軍公用車を運転していた在沖米海兵隊員の呼気からは基準値の約3倍を超えるアルコールが検出され、同日、那覇署に逮捕された。

伊江村議会は、これまでも米軍人・軍属等による事件・事故が発生するたびに綱紀粛正、再発防止等を徹底するよう米軍を始め関係機関に強く申し入れてきたところである。それにもかかわらず、在沖米海兵隊員による飲酒運転事故によって県民の尊い命が失われたことは極めて遺憾であり、基地があるゆえの事件・事故が繰り返されることに怒りを禁じ得ない。

特に今回、公用車が公務外に使用されているという事実に鑑みると、米軍における綱紀粛正や再発防止の取組は、もはや機能していないと言わざるを得ない。米軍及び日米両政府においては、事故に至る経緯等も含め十分に調査するとともに、遺族に対する補償などについて誠実に対応すべきである。また、日本政府においては、このような事故が再び起こることがないよう米側に毅然とした態度で臨むべきである。

よって、伊江村議会は、県民の生命・財産を守る立場から、今回の事故に対し厳重に抗議するとともに、下記の事項が速やかに実現されるよう強く要求する。

記

1. 被害者遺族への謝罪及び完全な補償を速やかに行うこと。
2. 在沖米海兵隊の早期の国外、県外への移転を行うこと。
3. 在沖米軍人・軍属による凶悪犯罪等に対し、司令官及び上司の更迭を図ること。
4. 沖縄県・日本政府・米国政府の三者による特別対策協議会を設置して、事件・事故の再発防止を図ること。
5. 日米地位協定を抜本的に見直すこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年12月14日

沖縄県国頭郡伊江村議会

あて先：内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣、内閣官房長官、沖縄及び北方対策担当大臣
外務省沖縄特命全権大使、沖縄防衛局長

意見書第5号

米軍CH53E大型輸送ヘリコプターから普天間第二小学校への窓落下事故に関する意見書

去る12月13日午前10時9分ごろ、米軍普天間基地所属のCH53E大型輸送ヘリコプターのコックピットの窓が、児童54人が体育の授業を受けている普天間第二小学校のグラウンドに落下し、4年生の男児1人が落下の風圧で飛んできた小石に当たり打撲傷を負う重大事故が発生した。

落下した窓は四方約90センチ、重さ約7.7キログラムで、窓枠は金属製であり、一歩間違えば人命にかかる深刻な事故であり、未来を担う子ども達が1日の多くを過ごす安全であるべき学校施設に落下した事故に、児童や保護者、学校関係者に強い衝撃と恐怖を与えた。

また、去る12月7日には、同型ヘリコプターのものと見られるプラスチック製の円筒の部品が、宜野湾市野嵩にある緑ヶ丘保育園の園児約30人が遊ぶ園庭のすぐ隣のトタン屋根の上に落下しており、立て続けに発生した重大事故に、園児や児童、その保護者はじめ、学校関係者や地域住民には不安と怒りが大きく広がっている。

街の真ん中に「世界一危険」といわれる普天間基地を抱え、常に命の危険と隣り合わせの生活を余儀なくされている宜野湾市民をはじめ県民の米軍に対する不信感は頂点に達している。このような中で、事故からわずか6日で同型機の飛行再開を強行したことは極めて遺憾である。

伊江村議会は、これまでも相次ぐ米軍機の事故やトラブル等に対し、原因究明と再発防止策の徹底を再三再四強く申し入れているにも関わらず、効果のある防止策が講じられることなく、またしてもこのような重大事故が起きたことに対し、激しい怒りを禁じ得ない。

日本政府においては、このような事故が再び起こることがないよう米側に毅然とした態度で臨むべきである。

よって、伊江村議会は、県民の生命・財産、安全・安心な生活を守る立場から、今回のCH53E大型輸送ヘリコプターの窓落下事故に対し厳重に抗議するとともに、下記事項が速やかに実現されるよう強く要求する。

記

1. 事故原因を徹底究明し、その結果を速やかに県民に明らかにすること。
2. 実効性のある再発防止策を講じ、その実効性が確保されるまで同型機の飛行を一切中止すること。
3. 保育園、学校、病院、住宅などの民間地上空での米軍機の飛行・訓練を中止すること。
4. 政府が約束した普天間飛行場の5年以内の運用停止の実現を図ること。
5. 日米地位協定を抜本的に見直すこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年12月27日

沖縄県国頭郡伊江村議会

あて先：内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣、内閣官房長官、沖縄及び北方対策担当大臣
外務省沖縄特命全権大使、沖縄防衛局長

※上記の2件同様に抗議決議を米軍関係機関へ提出しました。

議会を傍聴しました!

第11回定例会（平成29年12月13日・14日）では、伊江小学校6年生、西小学校6年生、婦人会の皆さんのが議会を傍聴しました。その中から両小児童の感想文の一部を紹介します。

CCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCC 「伊江島の意外なことを 知ることが出来た」 伊江小6年 内間 新

議会傍聴をして感じたことは、僕達がやったパネルディスカッションの大人版だなと思いました。議会の内容はビーチの安心・安全についてや創生塾について議員さん、村長さん、教育長、各課長が伊江島のために話し合っていました。僕は議員さんの意見に、「おー」と思ったり、伊江島の意外なことを知ることができたり楽しかったです。



一般質問に集中する伊江小6年生



議会傍聴後お礼をする西小6年生

CCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCC 「たくさん学べる良い機会になった」

伊江小6年 内間 朱里

議会では、ビーチの事と創生塾のことについて議論を聞くことが出来ました。そのことで分かったことは、村民が安全で安心して住みやすい村にするために議員さん達が頑張っているのが分かりました。たくさんの資料を使って相手を納得させているのを見て、今まで私達が学んで来たことと同じで驚きました。普段は学べないようなこともたくさん学べる良い機会になったと感じました。

CCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCC 「将来議員になってもいいかな」

西小6年 長嶺 銀大

議会を聞いていて台風の避難場所が17カ所もあることが分かりました。また質問された人は、質問にきちんと答えていて、話もすらすらと進んでいて、「すごいなー」と思いました。

そして議員は伊江村のために、いろんな事を話していて、将来力士になろうかと思っていたけど、今日の議員さんの話を聞いていたとかっこよかったので、将来議員になっても良いかなと思いました。

CCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCC 「伊江島を明るくしていきたい」

西小6年 大城りいあ

議会を聞いていて私は、人の話を聞く大切さについて分かりました。議会では議長が議員の人たちより高いイスに座って議会を進めていました。また、積極的に自分から手を挙げる人が多かったので私もこれから発表するときなどは、自分の意見をちゃんと伝えられるようにしたいです。そしてあいさつや、発表するときについていねいな言葉使いで発表していたので、私も議員さんをまねして、伊江島を明るくしていきたいと思いました。

その他にも多くの感想が議会へ寄せられました。

ただいまヨーガリ中

12月議会広報誌掲載のダイエットチャレンジ結果

全議員（10人）でダイエットチャレンジに取組んできました。
努力の結果が表れ、合計で**22.6kg**（一人あたり約2kg）の減量に成功しました！

なかには6kg減に成功した議員もいます。
みなさんも適度な運動、食への意識を高め健康管理に励んでみませんか？
※今後も継続して測定を行っていきたいと思います。
BMI算出方（体重kg ÷ 身長m ÷ 身長m）



亀里監査委員 受賞おめでとう

行政監査に10年余

11月29日、沖縄県町村監査委員研修会において、地方自治法施行70周年に伴う監査事務功労者に対する総務大臣表彰の伝達式が行われ、12月11日に村長へ報告を行いました。



受賞報告を行う（右2）亀里監査委員

研修報告

Training report

町村議会広報研修会 「読む！質す！生かす！」

広報委員 H30年2月1日

熊本日日新聞社NIE専門委員の越地真一郎氏を講師に迎え、「熟議型クリニックで新たな気付き」をテーマに広報誌が果たす役割や、住民にどのような形で伝えるか、全国の広報誌を例に挙げ講演が行われた。また、他市町村から本村広報誌への感想やアドバイス等、意見交換を行った。

今回の研修を生かし読みやすく興味の持てる広報誌作りに取組んでいきたいと思います。



自治会館で行われた広報クリニック

議会の活動



- 1日：国営かんがい排水事業完工式（全議員）
 3日：伊江小学校学習発表会（伊江校区議員）
 4日・5日：北部議長会第3回定例会（議長）宜野座村
 6日：伊江村たばこ振興会総会・懇親会（議長）
 8日：議会運営委員会
 8日：社協交流望年会（議長）
 10日：イージマチューパンジャまつり、村政功労者表彰式（全議員）
 13日～14日：第11回定例会（全議員）
 21日：北部振興会総会（議長）名護市
 24日：第6回ハイビスカスカップ小中学生ゴルフ伊江島大会（全議員）
 27日：第12回臨時会（全議員）



村政功労受賞者



- 4日：平成30年成人式（全議員）
 4日：新年交歓会（全議員）
 5日：消防出初式（全議員）
 6日・7日：第16回少年野球伊江島交流試合（副議長）
 9日：伊江島観光協会新年会（議長）
 9日：フェリーぐすく建造検討委員会（議長）
 10日：全員協議会（全議員）
 12日：平成30年JAおきなわ北部地区新春の集い（議長）名護市
 14日：JAみちのく懇親会（議長・経公委員）
 15日：初セリ（全議）
 16日：自治体向けICT推進セミナー（総務委員長）那覇市
 17日：商工会新年会・受賞祝賀会（議長）
 18日：第1回臨時会（全議員）
 18日：国・県出先機関の長及び関係団体等と
 北部市町村との「新年会」（議長・副議長）名護市
 20日：県育樹祭（全議員）
 28日：西小学校学習発表会（西小校区議員）
 31日：健康づくり推進協議会（議長）



初セリオープニング



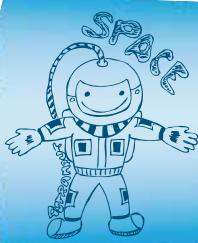
- 1日：県町村広報研修会（広報委員）
 2日：海外子弟歓迎会（議長・亀里議員）
 9日：山城克己氏新報活動賞祝賀会（議長）那覇市
 11日：日立製作所野球部合宿来村（議員）
 15日：日立製作所野球部激励会（議員）
 16日：第2回臨時会（全議員）
 17日：ハイビスカス協会総会（副議長）
 19日：広報委員会
 20日：県町村議長会定例理事会・総会（議長）那覇市
 21日：県離島振興市町村議会議長会定期総会・研修会（全議員）那覇市
 22日：県町村議會議員・事務局職員研修会（全議員）南風原町
 23日～26日：伊江島らっきょう・特産品PR（議長）東京都



多くの参加者による植樹作業



日立製作所野球部合宿歓迎式



私たちの未来

vol.3

村内の子どもたちに

将来の伊江島について聞いてみました。



伊江小学校6年

宮里 結 (みやざと ゆい)

阿良区

私は、今のままの伊江島が好きです。なぜなら、みんなが仲良くて、海が綺麗だし自然がいっぱいあるからです。大きな学校だと人数が多く友達の名前を覚えられなかつたりするからです。また、船も今のままでいいです。将来は、もっと自然豊かな島にして観光客を呼びたいです。

※将来の夢は、バレーボール選手か保育士になりたいです。そのために時間がある時は壁当てやバス練習を頑張っています。また、小さい時から子どもと接したりしています。

西小学校6年

友寄 桜香 (ともよせ さくら)

西江上区

私は、将来伊江島と本島を結ぶ橋が架かっていて、島に高校があれば親や兄弟と離れて暮らさず寂しい思いをしないですむと思います。

また、一人一人が落ちているゴミを拾うなど気をつけ、自然を大切にすることで自然をいかした体験観光や島に大きな道の駅を作り、伊江島でしか買えない野菜等を販売したら観光客が増えると思います。

※将来の夢は、美容師になることです。お母さんの影響もあり美容師に興味をもちました。今は、いろいろな美容室を見学したり、雑誌を見て研究しています。4月から中学生になるので、中学校では陸上部に入部し投げを頑張りたいです。



伊江中学校2年

屋嘉比 翔 (やかび しょう)

東江前区

新生徒会長になりました屋嘉比翔です。将来伊江島に何でも買い物の出来る大きなデパートを造り、船は朝早くから夜遅くまで運航させ本島の高校にも通えたら良いと思います。

また、伊江島一周できるサイクリングコースを造り、北海岸を整備し釣り場のスポットにしたら観光客が増えると思います。

※将来の夢はプロ野球選手で、そのためにバッティングと、体が小さいのでたくさんご飯を食べ、体作りに取組んでいます。

みんなが楽しく学校に通える伊江中にできるよう頑張ります。

ワッタウムイ

「ワッタウムイ」とは伊江島の方言で「私たちの思い・考え・真心・愛情」という意味。

お しおむつ こ
広島県出身で名誉村民の生塩睦子先生は1964年（昭和39年）以来54年にわたり伊江島方言を調査研究され、「伊江島のはなしことば」、「伊江島方言辞典」等を発刊し現在も年に3回、本村に訪れ「伊江島のことわざ」、「伊江島の民話いーじまぬむかしばなし集」の発刊へ向け取組んでいます。



健康一番

伊江島独特の文化を
後世へ残して
ほしいです。

聞き取り調査を行う
生塩先生（左下）



指導を行う阿部先生（右）

現在44名で構成される伊江村消防団の団長を務める島袋操団長（西崎区）は、消防団へ入団し32年、伊江村の火災や事故等の対応にあたってきました。

村消防団は、昨年開催された沖縄県操法大会において消防本部を持たない離島として上位に入賞するなど県から高い評価をうけています。

現在も年に50件程の出動があり、日夜村民が安心して暮らせるよう頑張っています。

「緊急の場合は119または、49-2001へ連絡して下さい」

あ べよしひろ
診療所の阿部好弘所長は、患者さんから空手の呼吸法を教えて欲しいと依頼され、それ以降は剛柔流の継承と健康増進を目的に毎週水曜、日曜の2回、BGにおいて指導を行っています。空手の稽古は厳しくても、運動を習慣づけることで健康増進にも繋がります。

「健康のために若い
皆さんも是非道場へ足を
運んで下さい」

伊江島の
安全を
守ります。



みごと県大会で3位入賞 島袋団長（右上）

“みんなの声” 聞いてみました



なかもと せいゆう
名嘉元 精雄(66)
(西江上区)

農業を始めてから15年、主な作物としてサトウキビ1,100坪、島らっきょう900坪を栽培し、今年から伊江村園芸生産組合長も務め、伊江島野菜のブランド化へ向け取組んでいます。

名嘉元さんから一言

伊江島の北側には防風林が少ないので防風林の整備を行って欲しい。

また、堆肥等の補助が行われているが生産者に広く届くよう周知をおこなって欲しい。



1本、1本手作業で行います



たましろ ひろふみ
玉城 博文(63)
(西江前区)

農業を始めてから12年、主な作物としてサトウキビ1,800坪、島らっきょう1,200坪を栽培し、今年から島らっきょう部会長として、県内外へ島らっきょうのPRを行い販路拡大等に努めています。

玉城さんから一言

島らっきょうは、沖縄県の拠点産地に認定されています。植付けや収穫作業時に時間を要することから作付面積を増やすことが難しいので、機械化を図り作業を軽減化することで、作付面積の増大や安定生産が見込まれると思うので、事業導入を行って欲しい。



集出荷計画を話し合うらっきょう部会



ちねん ゆうじ
知念 雄二(51)
(西江上区)

農業を始めてから9年、主な作物として、とうがん4,000坪を栽培。とうがん部会長を務め農業振興に向け汗を流しています。

知念さんから一言

とうがんは、沖縄県の拠点産地に認定されています。生産者の高齢化や新規就農者が少ない事から補助事業の導入が難しいので、3月末から5月下旬まで、安定生産、安定出荷ができるよう運搬機やハウス等の補助事業があれば助かります。



とうがんを倉庫へ搬入



題字提供はこの方



▲題字を書いていただいた並里ヨシさん (ふさと苑にて)

昭和3年12月13日生まれ(89才)
(東江上区・屋号 ンタナンジャ)

題字執筆者紹介

在宅からディサービスを利用しています。

平行棒を利用した足あげ歩行などの訓練に熱心に取り組まれています。

お話が上手で、冗談のタイミングバッタリで飛び出します。

小柄でかわいいおばーです。



傍聴席へどうぞ

12月定例会での議会傍聴者は延べ69名でした。

傍聴を希望される方は、お気軽に議会事務局までお問い合わせください。

TEL 0980-49-2924 (直通)



★ 編集後記

3月は島立ちの季節、島を巣立つ伊江中学卒70期生の皆さん、充実した高校生活を送れることを心から願います。

さて広報委員の一番の喜びは、村民の皆様から「議会広報誌見たよ～読んだよ～」とお声を掛けて頂いたときです。

今回の議会広報誌160号を含め18期広報委員会が発刊する広報誌も6月、9月の3回になりますが、広報委員として村民の皆様がより一層、見たい読みたい議会広報誌を目指し頑張ります。

議会広報副委員長 島袋 勉